

クラウド上で断片化したデータを管理する



主なメリット

- **DataPlatform™ for Cloud**により、クラウドネイティブアプリケーションの保護とクラウドへのフェイルオーバーを実現します。
- **CloudArchive™**により、バックアップデータをパブリッククラウドへ移動し、データを長期保存します。
- **CloudTier™**により、パブリッククラウドをオンプレミスストレージの延長として活用できます。
- **CloudSpin™**は、開発/テストのために、開発者がクラウド上のバックアップデータに素早くアクセスすることを可能にします。
- **Cloud Snapshot Manager™**により、クラウド上のワークロードをリモートで保護することを可能にします。

今日のビジネスでは、データドリブンであることが求められています。しかし、データそのものが、より良い意思決定の妨げになることがあります。データがあまりにも多く、サイロ、管理システム、クラウドなどさまざまな場所で断片化しているからです。10社中9社の企業が、クラウドがその期待に十分に答えられない理由は、この大量データの断片化にあると回答しています。最大の障害は、すべてのデータを管理するための適切なソフトウェアがないことで、これがコストの増加とITスタッフの負担増につながっています。クラウドの導入と断片化されたデータは、デジタルトランスフォーメーションを推進するどころか、妨げになっています。Cohesityは、このような状況を一変させます。

Cohesityでデジタルビジネスを推進

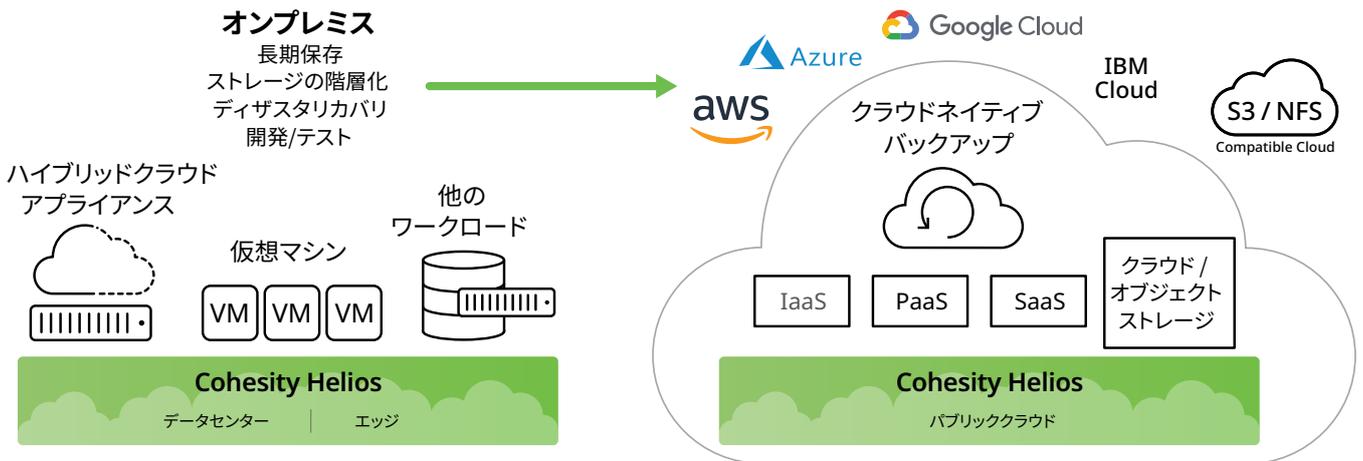
Cohesity Heliosは、データとアプリケーションのためのソフトウェア定義のマルチクラウドデータプラットフォームです。パブリッククラウドとのネイティブな統合により、データを管理しながら、スケーラビリティと従量課金モデルを利用して、バックアップからディザスタリカバリまでさまざまなユースケースに対応することができます。

Cohesityは、Amazon Web Services、Microsoft Azure、Google Cloud Platform、およびCohesityを導入したサービスプロバイダーのクラウドとネイティブに連携し、オンプレミスのデータ管理ソリューションを、実績のあるパブリッククラウドサービスへと拡張します。Cohesity Heliosを使用すると、パブリッククラウドにCohesityクラスタをデプロイしてクラウドネイティブアプリを保護したり、オンプレミスからのレプリケーションを可能にしてハイブリッドクラウドに対応することができます。

ひとつのソリューション。複数のクラウドユースケース

Cohesityに搭載されているクラウド機能により、複数のユースケースでクラウドを柔軟に活用することができます：

- **バックアップ:** オンプレミス、クラウド、SaaSのアプリやデータなど、あらゆるものをバックアップ、リカバリすることができます。
- **長期保管:** クラウドを活用して、低コストのクラウドストレージにデータをアーカイブすることで、テープの負担をなくすことができます。
- **ストレージの階層化:** クラウドをストレージ階層として利用し、ポリシーによってホットデータ、ウォームデータ、コールドデータを階層化し、必要に応じてオンプレミスに戻します。
- **クラウドのバックアップ:** クラウド上のVMやストレージ、プラットフォームサービス、Office 365などのSaaSアプリケーションを、ポリシーベースのバックアップで保護します。
- **ディザスタリカバリ:** ハイブリッドクラウドにおけるワークロードの自動化とオーケストレーションにより、クラウドのフェイルオーバーとフェイルバックを可能にします。
- **アジャイル開発/テスト:** オンプレミスの仮想マシン (VM) をパブリッククラウドでスピンアップし、開発/テストを行うことができます。レプリケーション、VMのコンバージョン、インスタンスのスピンアップをスケジュールするためのポリシー設定も行えます。



データ管理の再構築

Cohesityの3つの属性は、クラウドにおけるデータ管理ビジョンを実現するために不可欠です:

クラウドネイティブのグローバルな効率性 - 世界最高水準のグローバルな効率性を備えたクラウドの拡張性と容易さを利用し、複雑性、コスト、リスクを削減します。

- 自由にクラウドを選択し、ネイティブに統合またはデプロイ
- ソフトウェア定義のアーキテクチャにより、小さく始めて、どこにでもデプロイでき、無停止で拡張可能
- 暗号化、グローバル重複排除、グローバル検索でセキュアかつ効率的な運用を実現

ひとつのプラットフォーム、包括的保護 - ハイブリッドクラウドやマルチクラウドに散在するすべてのデータを、Cohesityの単一のWebスケールデータプラットフォームに統合し、保護します。

- ベンダーロックインなしにデータのモビリティを確保
- 統合ソフトウェアまたはクラウドバックアップサービスで、クラウドネイティブなSaaSアプリケーションを保護
- バックアップ、長期保存、クラウドへのフェイルオーバーを可能にし、どこへでもリカバリしてデータの使用を可能に

管理の手間を省き、イノベーションを促進 - グローバルな可視性によりデータ管理をシンプル化、自動化し、サードパーティ製アプリケーションのデータに直接アクセスできるようにすることで、セキュリティ、インサイト、新たなイノベーションを実現します。

- データ管理を自動化し、クラウド上のワークロードの移動とリカバリを実現
- APIとデータクローンで開発者のイノベーションとDevOpsの自動化を実現
- 不要なコピーやサイロを排除しながら、インサイトを引き出し、データセントリックなアプリケーションを開発

クラウドのデータ管理をシンプルに

Cohesityプラットフォームは、パブリッククラウド上でネイティブに稼働し、クラウドネイティブなワークロードを保護します。また、オンプレミスでデプロイする場合は、パブリッククラウドとのシンプルな接続を可能にし、長期保存、階層化、ディザスタリカバリ、アジャイル開発/テストのためにデータセンターインフラを拡張してクラウドを使用することができます。

データ管理のためのクラウドビジョンをCohesityで実現してみませんか。詳細は、www.cohesity.com/jp/solutions/cloud/ をご覧ください。

詳細はこちら: Cohesity.com.jp

COHESITY

© 2021 Cohesity, Inc. All rights reserved.

Cohesity, Cohesityのロゴ、SnapTree、SpanFS、DataPlatform、DataProtect、Helios、およびその他のCohesityのマークは、米国および/または海外におけるCohesity, Inc.の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、関連する各企業の商標である可能性があります。本資料は、(a) Cohesityと弊社の事業および製品に関する情報を提供することを目的としています。(b) 本資料が作成された時点では、真実かつ正確であると考えられていますが、予告なく変更されることがあります。(c) 本資料は、“現状有姿”で提供されます。Cohesityは、いかなる種類の明示的または黙示的な条件、表明、保証も放棄します。